

令和3年度 中野区立中野第一小学校 経営計画

<p>学校教育目標</p>	<p>心身ともに健康で知性と感性に富み、自分も人も大切に作る豊かな人間性を持ち、時代と社会の変化に主体的に対応してたくましく生き、社会に貢献できる児童を地域・保護者と連携して育てる。</p> <p style="text-align: center;">考える子 思いやりのある子 元気な子</p>		
<p>目指す子ども (幼児・児童・生徒)像</p>	<p>1 自分の大切さとともに他の人の大切さを認める心と態度を身に付け実践する子 2 基礎的・基本的な学力を確実に身に付け、習得した知識・技能を活用できる子 3 運動に親しむとともに、健康・安全・防災に関する必要な知識等を習得し、健康で活力ある生活を営む子</p>	<p>目指す学校 (教師像を含む)</p>	<p>児童に 保護者に 地域に 教職員に わたしにプラス! <b>喜びを生み出す学校</b> 教員一人一人のもてる資質・能力を十分発揮し、 授業力、指導力を結集した学校の組織としての力を高め、 保護者・地域と共に愛され誇りにされ喜びを生み出す学校をつくり、 児童のよりよい成長を促す適切な支援を充実させた教育を実現する。</p>
<p>教育目標を達成するための基本方針</p>	<p><b>ア 豊かな人間性の育成</b> 人権尊重の精神を基盤とし、全教育活動を通して生命や人権等を尊重する態度や規範意識を育むと共に自尊感情や自己肯定感、自己有用感を高める。学年間や異学年間(たてわり班)、地域の人々との交流活動や地域の人材を活用した教育活動等を通して、道徳性や豊かな人間性、人間関係形成力を培うとともに、地域で学ぶ児童への一貫した成長支援・育成に取り組む。また、学校いじめ防止基本方針に則り、スクールカウンセラー等との連携を密にしながら全教職員で年間を通して継続的にいじめ未然防止等に全力で取り組む。</p> <p><b>イ 学力の向上</b> 児童の実態に基づいて指導方法を工夫改善した授業と評価規準・評価計画による適正な評価・評定を実施し、個に応じた指導や補充学習、少人数・習熟度別指導等を通して基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るとともに、言語活動や課題解決学習、体験的な学習の一層の充実により思考力・判断力・表現力等を育成し活用する力を身に付けさせる。また、ICT機器を用いた学習と従来の学習活動を組み合わせ、個別学習と対面学習を効果的に融合させて一人ひとりの児童・生徒の状況に応じた学びや主体的・対話的で深い学びを推進するとともに、学びを人生や社会に生かそうとする姿勢や態度を身に付けさせていく。また、グローバル化が進展した社会の様々な場面で必要となる外国語によるコミュニケーション能力の向上に努める。</p> <p><b>ウ 体力の向上と健康の保持増進</b> 年間を通して体育朝会や外遊び、オリンピック・パラリンピック教育の推進に取り組むとともに体育の授業改善に努め、日常的に運動に親しむ資質を育成して体力・運動能力の向上を図る。ESD(持続可能な開発のための教育)を推進し、食育や防災教育の推進、交通・安全指導の徹底により必要な知識等を習得させ健康で活力ある生活を営む実践力を育てる。また、特別支援教育コーディネーターを中心に校内支援委員会の活動を一層活性化させ、関係機関等との連携を取りながら、個に応じた指導ときめ細やかな支援による児童の心身の健やかな成長を図る。</p> <p><b>エ 保護者・地域との連携・協働</b> 土曜授業公開の実施、学校だよりやホームページ等とおして、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を保護者や地域と共有・連携して教育を推進する。また、保育園・幼稚園から小学校、小学校から中学校への円滑な接続を図り、連携を生かして生きる力を更に伸ばし育てていくために、近隣の保育園・幼稚園や小中連携3校の教職員が同じ方向性をもって取組み、教科指導や生活指導等において発達段階や学びの連続性を踏まえた意図的・計画的な指導の工夫を行い、一貫性のある継続的な指導を行うなどカリキュラム・マネジメントに努める。</p>		

今年度の重点

A 重点目標	B 中期経営目標 (数年間でどのような状態にするか)	C 短期経営目標 (今年度末までにどのような状態にする)
<p>1 【知(確かな学力)】 保幼との円滑な接続と小中9年間の学習の系統性を踏まえ、小学校における基礎的・基本的な学力の定着と知識・技能を活用する力を身に付ける。</p>	<p>家庭学習の習慣を確立するとともに、主体的な学び方を身に付ける。</p> <p>児童の90%以上が学習に意欲的に取り組み、通知表の「もう少し」を5%以下とする。</p>	<p>目標時間の家庭学習を行っている児童の割合を85%以上とする。</p> <p>図書とタブレットそれぞれの活用の良さを理解している児童を80%以上とする。</p> <p>児童の90%以上が学習に意欲的に取り組み、通知表の「もう少し」を5%以下とする。</p>
<p>2 【徳(豊かな人間性)】 自分の大切さとともに他の人の大切さを認める心と態度、実践する力を身に付ける。</p>	<p>生命や人権等を尊重する態度や規範意識を身に付ける。</p>	<p>「みんなのきまり」を守っている児童の割合を90%以上とする。うち、◎を50%以上とする。</p> <p>いじめの早期発見、早期対応を図り、事案確認から1か月以内に解決する。</p> <p>自分を大切にしている児童を90%以上、友達を大切にしている児童を95%以上とする。</p> <p>通常級・特別支援学級の交流が楽しいと感じる児童を80%以上とする。</p>
<p>3 【体(健康・体力)】 運動に親しむとともに健康・安全・防災に関する必要な知識等を習得し、健康で活力ある生活を営む力を身に付ける。</p>	<p>運動に親しむ資質を育成し体力・運動能力を向上させる。</p> <p>心身の健康について理解し、楽しく明るい生活を営む態度を身に付ける。</p> <p>安全について理解し、自ら安全に行動する力を身に付ける。</p>	<p>体を動かすことが楽しい児童の割合を90%以上とする。</p> <p>健康に元気に過ごしている児童の割合を90%以上とする。</p> <p>学年に応じたSOSの出し方を理解し、だれかに相談できる児童の割合を90%以上とする。</p> <p>安全に気を付けて生活している児童の割合を90%以上、自転車安全利用五則遵守を95%とする。</p>
<p>4 【学校における働き方改革】 教職員の心身の健康保持を図り、心身共に充実して働き続けられる働き方を実現する。</p>	<p>教職員の働き方に係る意識改革を推進し、働き方の改善に具体的に取組む。</p>	<p>時間外勤務の上限について月45時間、年間360時間を目標とする。特例の場合においても区の条例施行規則を遵守する。</p>
<p>5 【保幼小中連携】 保育園・幼稚園から小学校、小学校から中学校への円滑な接続を図り、連携を生かして生きる力(豊かな心・学力・体力)を更に伸ばし育てる。</p>	<p>教科指導や生活指導等において発達段階や学びの連続性を踏まえた意図的・計画的な指導の工夫を行い、一貫性のある継続的な指導を行う</p>	<p>(自己肯定感について) 自信のあるところのないところを含め、自分自身にだいたい満足している児童を75%以上とする。</p> <p>数学・算数、英語・外国語について、学力を向上させる取組を構築する。</p>